

平成29年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 准教授

氏名： 大八木 時広

研究課題		EUと危機管理
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>平成29年度個人研究費は、以下に述べるような研究計画を実行するために使用された。本年度の研究計画は、EUと危機管理というテーマで、国際関係においてEUがどのようなリスクマネジメントを行うか研究する予定であった。この研究計画に沿って、過去のEUの政治的危機の代表例、いわゆる「サンテール欧州委員会危機」をめぐるEU自体の対応、とりわけ欧州議会の対応の事例についてリサーチを行っている。他の事例を含めたリサーチは今後も複数年度にわたり続ける予定である。また本来の研究計画にはなかったが、政治学と国際関係論のテキスト(いずれも日本大学の政治学と国際政治学・国際関係論の統一テキストとして用いられている)の改訂作業に加わったため、政治学教育・国際関係論教育が今年度の研究計画として急遽、付け加えられた。具体的には、圧力団体論・NGO論、国際政治理論研究、とくに国際レジーム論、グローバル・ガバナンス論に取り組んだ。</p>
	研究成果	<p>個人研究費を用いた今年度の研究成果と、次年度に対する反省点を以下、簡潔に述べる。まず研究成果であるが、本来の研究テーマであるEUと危機管理に関しては、今年度は論文や研究発表といった成果物には結びついていない。具体的な成果物は次年度以降に出されることとなる。また今年度、本来予定にはなかった教科書改訂作業に関しては、政治学教育、国際関係論教育の観点から改めて調査・研究をふまえて、以下の二点の成果物、『政治学』と『国際関係論』となっている。具体的には『政治学』においては、第9章では、圧力団体・NGO、第12章では、主要な国際政治理論を扱っている。また『国際関係論』においては、第9章では、国際レジーム論とグローバル・ガバナンス論を扱っている。</p> <p>反省点として、今年度は特殊な公務、予備的リサーチ、教科書の執筆や改訂、あるいは資料・文献の収集に力点を置いたため、論文などの成果物が発表できなかった。次年度以降は、積極的に論文執筆や学会発表に取り組みたい。</p>
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	<p>①著書：山田光矢編著『政治学』弘文堂、第9章(pp. 129-144)、第12章(pp. 177-192)【2018年3月刊行】 ②著書：佐渡友哲・信夫隆司共編著『国際関係論』弘文堂、第9章(pp. 137-152)【2018年3月刊行】</p>
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	なし
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	なし